

77 B 0
(112 G 0)

特 許 庁
特 許 公 報

特 許 出 願 公 告
昭43-17521
公告 昭 43. 7. 24
(全2頁)

自動車タイヤ用バランスウェイト

特 願 昭 39-58588
出 願 日 昭 39. 10. 16
発 明 者 村上邦彦
東京都目黒区上目黒8の266
出 願 人 萬歳自動車株式会社
東京都中央区日本橋通り1の6
代 表 者 野村 績
代 理 人 弁理士 丹生藤吉 外2名

図面の簡単な説明

第1図は本発明に係る自動車タイヤ用バランスウェイトの第1の実施例を示す斜視図、第2図は第2の実施例を示す斜視図、第3図は本発明のバランスウェイトをタイヤのリムに接着した状態を示す正面図である。

発明の詳細な説明

本発明は自動車タイヤのリムに固定するバランスウェイトに関するものである。

自動車車輪の静的及び動的釣合を取るために従来はホイールのリムにバランスウェイトをボルトにより固着しているが、本発明は従来のようにボルト等の固着具を一切用いることなく、しかも如何なる場所にも頗る簡単に取付けられる極めて便利なバランスウェイトを提供しようとするものである。

而して本発明は鉛、鉄など比較的比重の大きな物質の粉粒物と金属の接合を行う接着剤とを混合したものを板状、棒状などに成形し、これを適宜の長さに切断して、ホイールに接着することを特徴とする自動車タイヤ用バランスウェイトである。

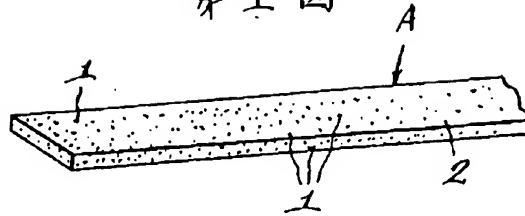
即ち図示の実施例に示すように、鉛の粉末1を金属への接合が可能な接着剤2と混合して第1図及び第2図に示すように板状又は棒状Aとなし、これを任意の長さに切断することにより所定の重量となり、該切断片Bを第3図のようにタイヤのリム3にそのまま接着するのである。

本発明は上述のような構成であるから、従来のように固着具を用いてリムに固定する必要がなく非常に迅速簡単に固着できる効果があり、螺子が緩んで外れるようなことは全くない。又特に本発明においては、金属と完全に接着する接着剤を混合してあるからそのままリムに接着し、従つて取付操作が至極容易である。更に板状、棒状の本発明ウェイトは適宜の長さに切断して利用できるので所望の重量のものが簡単に得られる等の特徴を発揮し、進歩した発明である。

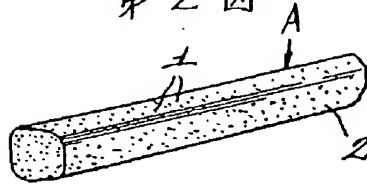
特許請求の範囲

1 鉛、鉄など比較的比重の大きな物質の粉粒物と金属の接合を行う接着剤とを混合したものを板状、棒状などに成形し、これを適宜の長さに切断してホイールに接着することを特徴とする自動車タイヤ用バランスウェイト。

第1図



第2図



第3図

